

要請番号 (JL60922A18)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ガボン	I102 障害児・者支援		個別	新規 1代目	2年	・ 2022/4 ・ 2023/1 ・ 2023/2 ・ 2023/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

家族福祉省

2) 配属機関名 (日本語)

国立聴覚障害児学校

3) 任地 (エスチュエール州リーブルビル市) JICA事務所の所在地 (リーブルビル市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

国立聴覚障害児学校は、言語聴覚障害のある児童・生徒の教育支援を目的として設立された特別支援学校であり、幼児、小学、中学および特別クラスが設置され、2022年2月現在3～28歳の児童・生徒約100名が通学している。学校の運営には国家予算の他、大統領夫人財団・UNICEF・フランスのNGO団体等からの資金援助を受けている。JICAボランティア派遣は2018年から開始されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同校には、補聴器技師1名、手話通訳士1名の聴覚障害に対する専門家は配置しているが、子どもたち、それぞれの障害特性に応じた教育活動の実施には課題がある。このような背景下、同校における教育活動の質の改善および向上を目的としたJICAボランティアが要請された。現在活動中の青年海外協力隊(言語聴覚士)は補聴器技師や手話通訳士と手話や発声法など、聴覚聴覚障害に対するアプローチを実施中。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先同僚、主に各クラス担任と協力した以下の活動を行う。

1. 子どもの障害特性を把握し、それぞれに相応しいカリキュラムの作成と指導法の提案と実施を行う。
2. 図画工作・裁縫・調理・文化交流など楽しみながら学べる内容を取り入れた指導計画を立て、その実施サポートを行う。
3. 発達段階や障害特性の異なる児童・生徒への適正な支援について、同僚へ情報共有や提案を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

各種アクティビティ用具(メディシンボール・ヨガマット・他身体能力訓練用具等)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

学校長(心理士、50代男性)1名
特別支援教育担当職員(40代男性)1名、臨床心理士(30～40代男性女性)2名、補聴器技師(40代男性)1名、クラス担当職員5名、看護師1名、作業療法士1名、手話通訳士1名
活動対象者:職員、保護者、児童・生徒

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

フランス語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（ ）

[学歴]：（大卒） 備考：配属先からの要請

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：教育現場での経験

[参考情報]：

- ・特別支援学校等での実務経験が望ましい

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（25～35℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

【類似職種】

- ・小学校教育
- ・幼児教育

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。